

平成 15 年度厚生労働省政策科学推進事業分担研究報告書

急性期入院医療試行診断群分類を活用した調査

コーディングの適正化に関する研究

研究者：○阿南誠 1)、秋岡美登恵 1)、上田京子 2)、桑原一彰 3)、久富洋子 4)

1) 国立病院九州医療センター、2) 国立仙台病院、3) 京都大学、4) アイネットシステムズ株式会社

研究要旨

平成 10 年 11 月の「急性期入院医療の定額支払制度」の試行、「診断群分類を活用した包括評価（いわゆる DPC）」の導入開始以来、病名の ICD コーディングの精度向上は大きな課題の一つであった。特に、医療の標準化の一環としての ICD に基づく病名表記の標準化、さらにはそれに関連して病名というデータの質改善は診断群分類を開発し評価する上からも必須の条件である。制度導入に伴う調査医療機関の拡大とともに、調査データが巨大になるにつれ、データ精度の確保とその検証は莫大なマンパワーを必要とし、改善が急務となっている。

このような状況をふまえて、我々は、ICD の構造的な問題点を勘案したうえで、大量データ（病名、ICD コード）を検証する手法の開発と実際に調査医療機関から提出されたデータの検証を行い、病名の質評価を試みた。

A. 研究目的：

平成 15 年 4 月より特定機能病院等を対象とした「診断群分類を活用した包括評価（一日定額支払方式）」、いわゆる DPC が導入された。また、平成 10 年 11 月からすでに試行が開始されていた国立医療機関等における「急性期入院医療の定額支払制度（一件包括支払）」に続き、平成 13 年からは、民間医療機関等 50 数施設が、基礎調査データのみ提供するという形態で試行に加わっている。これら多くの医療機関が何らかの形で診断群分類の運用に関わり、さらには新たな診断群分類の開発や改訂に利用するための基礎調査データの収集に協力している。

この基礎調査データの収集は、診断群分類を開発するための基盤となるために、非常に重要な意味をもっており、各医療機関に対してはこれらのデータを創出する能力とそれをデータベース化し高い精度を確保するこ

とが求められている。また、それはそのまま各医療機関の診療情報管理の実力が反映されると考えられている。特にコアとなる ICD コーディングは診断群分類の開発だけでなく各医療機関における診断群分類選択の過程においても、最も重要な要素である。

診断群分類の開発に留まらず、診療報酬点数の決定や医療機関の診療報酬請求に大きな影響を及ぼすことになるために、国立医療機関等を対象とした調査時期から、ICD コーディングの重要性の認識と精度改善はこの制度の根幹に関わるものとして、一貫して重要かつ改善すべき課題とされてきた。しかし、現在まで我が国における ICD の普及は決して十分ではなく、結果的に診療情報管理体制の整備が十分であるとはいえない。したがって、このような状況をふまえて、各医療機関から提出されたデータの精度確保、特に正しく ICD コーディングがなされているかを検証することは非常に重要な課題となっている。

平成 14 年度においては、主に目視を主体とした ICD の検証を本研究班で行った。

しかし、前述したように調査対象医療機関の拡大に伴う、基礎調査データの増大は、単純な目視等によるデータ検証を極めて困難なものにしている。

このような状況を改善するために、我々は、ICD の構造的な問題点を勘案したうえで、大量データ（病名、ICD コード）に対応できる検証する手法の開発と実際に調査医療機関から提出されたデータの検証を行うことによって、基礎調査における病名の質評価を試みた。

B. 方法：

- 1) 各医療機関から提出された、基礎調査データの傷病名と ICD コードのセットを、MEDIS 標準病名の傷病名、ICD 分類の区分名、その ICD コードと比較した。具体的な比較、チェック手法を表 1 に示す。
- 2) 単純な比較のみでチェックすることが出来ない微妙な表現などについては、ICD 第 2 巻、3 巻等を確認した。
- 3) これらの方法によって、傷病名 (ICD コードを併せて) を、明らかに不適当なデータ、検討を要するデータ、問題のないデータと区分した。具体的な区分の内容を表 2 に示す。
- 4) 現在の DPC 分類では異なるカテゴリ (MDC) にあるが、ICD の構造上の問題から今後の精緻が困難になると思われる分類と ICD を検証した。

C. 結果：

- 1) 上記の方法により検証結果の例を表 3 に示す。
- 2) ICD 分類の構造上の問題から、DPC 分類が曖昧になりそうな要素を検証した。結

果を表 4 に示す。

- 3) 現状はその他の分類に含まれるが ICD の構造から、それ以上精緻化するのが困難な例 (その一部) を表 5 に示す。

D. 結論：

傷病名の検証を行った結果、ICD や DPC 診断群分類を正しく選択するための課題は大きくわけて、傷病名そのものの問題、すなわち、そもそも適切な傷病名がデータベース化されているのか、ということと、データベース構築の段階で ICD コーディングを含めてデータ精度が落ちているのではないかと、という 2 点に集約される。

適切な臨床病名をどのように考えるかという問題は議論があり、さらに、表 4 や表 5 に示すように、ICD の構造そのものも DPC の精緻化を妨げる要因になっている。しかし、データベース化後の精度については、本来の臨床的傷病名では考えられないデータも散見され、単純に院内のデータベース構築体制を含めたシステム的な問題もあると考えざるを得ない。以下、各々の問題について考察を続ける。

1) 付与される傷病名そのものの問題

患者の病態からして適切な病名なのか (入院期間を通じて代表する病名なのか)、そもそも医学的、臨床的に適切妥当な病名なのかという点が議論すべき最大の問題である。

今回の研究では、明らかに不適当な病名 (入力ミスを含む)、不適当な ICD コーディング、その他に検討を要する病名として、問題あるデータをピックアップしているが、それ以外にも「明確に誤り」とすべきレベルには至らないが ICD コーディングや DPC 分類選択の場合においては明らかに曖昧さを含む病名表記のあり方も存在する。

今後、DPC 分類改訂やその開発継続に力点を置くのであれば、日常使用されている曖昧

な傷病名の存在も問題解決を図っておく必要があり、早急に改善すべき課題である。

2) データ精度 (コーディング精度) の問題

上記1)とも関係するが、表4や表5に示すようなICDの構造的な問題もあるものの、多くは、表3に示すように、曖昧な病名の選択およびICDコーディングの無理解が結果としてデータ精度の低下の要因となっているのは明確である。その一方で、標準病名は決してDPCやICD分類を主目的に開発されたものではなく、従来のレセプト表記を満足させるためのものであるために、不明確な病名、正確にはマスターが存在する。もちろん、ICDを十分に理解していれば、そのような曖昧なマスター病名は選択しないことで対応は可能ではあるが、実際にはオーダエントリーシステムやレセプトコンピュータ使用時のエンドユーザーにそのような配慮を期待するのはかなり無理があると思われる。最終的には、チェック体制が十分にあるかどうかということが今回の基礎調査での大きな課題であり、そのような視点からこの問題を考えてみると、チェック体制が十分に整備されている医療機関ばかりであるとは言い難い。さらに、十分なチェック体制を整備したとしても、今後求められるであろうDPC分類の拡大、精緻化にあたっては、ICDを用いる以上、一部のICDの構造的な問題が精緻化を困難にすることも忘れてはならない。諸外国と同様に、我が国においても表4や表5に示したように、構造的な問題が無視できないことから、J.M. (仮称: Japan Modification) の検討と導入が必要と考える。

E. 健康危険情報

なし

F. 研究発表

1) 阿南誠、秋岡美登恵、柴田実和子、上田

京子、DPC分類にみるICDの構造的な問題点について、第29回日本診療録管理学会、2003年9月12日、高知市

2) 秋岡美登恵、柴田実和子、阿南誠、DPC (診断群分類) における入院時、退院時分類に関する変化の比較、第29回日本診療録管理学会、2003年9月11日、高知市

G. 論文発表

1) 阿南誠、秋岡美登恵、柴田実和子、上田京子、桑原一彰、久富洋子、DPC分類にみるICDの構造的な問題点について、診療録管理、投稿中

H. 知的財産権の出願・登録状況

特許取得

なし

実用新案登録

なし

その他

なし

表1. 基礎調査傷病名データのチェック方法 (コンピュータ処理可能なレベル)

1. 病名そのもののチェック
 - 1) データ欠落 (未入力や列ずれデータの存在)
 - 2) 存在しないはずのICDコードの存在
 - 3) 意味不明文字の存在: 日本語とは異なるキヤラクターや無用なスペースの存在
 - 4) 一般的には希な、「一文字」、「二文字」病名の存在
2. 標準病名やICD分類名との比較チェック
 - 1) 標準病名の日本語病名部分との比較、さらにICDコードとの比較チェック
 - 2) ICD分類とのICDコードの比較チェック
 - 3) 文字欠落 (末尾桁の欠落等)
 - 4) 分類名がそのまま使われている: 臨床病名ではない
 - 5) 修飾語との一致病名の存在: 修飾語のみでは病名を構成しない
 - 6) MDCごとのグループに存在するはずのない病名キーワードのチェック

表2. 傷病名の区分

1. 明らかに問題があったとした傷病名（データ）
 - 1) 日本語表記がない（データ未入力）
 - 2) 日本語表記のところにICD codeがある、もしくは意味不明のデータが入力
※データベースそのものの桁ずれと推察されるものを含む
 - 3) 存在しない『ICD code』がある、もしくは桁数不足、桁数オーバー等
不適當なコードとなっており分類選択が出来ないもの
 - 4) 日本語表記の誤り、誤字、脱字などを含む
 - 5) 日本語表記とICD codeの対応関係の誤り
※日本語表記病名、もしくはICDが誤っている（どちらが正しいのか
判断不可能）
 - 6) DPC決定に日本語表記が足りない（字足らず）、もしくは曖昧な表現の
ために正確な分類選択が出来ない

表2. 傷病名の区分 (続き)

2. 検討もしくは改善を要する傷病名 (データ)

- 1) 日本語表記病名 (臨床病名) に、ICD分類名をそのまま使用している。
- 2) 詳細な分類が可能であるにもかかわらず、「部位不明」、「詳細不明」のコードを選択している事例
- 3) 冗長な日本語表記、一般的に用いられないと思われる表記
 ※例：「××の××」、もしくはICD分類名を修正して用いた事例
- 4) 略語 (アルファベット表記) を用いている
 ※例：「××K」、「××ca」
- 5) 傷病名でなく、兆候名、手術処置名称を使用し、今回の傷病名が判断出来ない
 ※例：「××全摘」、「××術施行」、「××術」
- 6) 「術後」、「処置後」、「後」等、病態を傷病名としており、今回の傷病名が判断出来ない
 ※例：「××術後」、「××術後状態」、「××後」
- 7) 意味不明のシンボルやキャラクターの存在
 ※例：「*」、「“」「スペース (空白)」等が傷病名の前後に付加されている

表3. 病名検証結果の例(MDC1)

SEQ	DPC_N o	DPC_na me	DPC_I CD	ICD_name(DPC)	資源ICD	資源ICD分類名	資源傷病名	コメント
13914	010010	脳腫瘍	C70\$	髄膜の悪性新生物	C700	C70.0 脳髄膜の悪性新生物	テント上下悪性髄膜	末尾桁不足
13988	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C710	C71.0 脳葉および脳室を除く大脳の悪性新生物	脳葉および脳室を除く大脳の悪性新生物	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
14042	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C711	C71.1 前頭葉の悪性新生物	神経膠芽腫(前頭葉)(術後)	術後なのか新たな疾病なのか不詳
14049	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C711	C71.1 前頭葉の悪性新生物	前頭部神経膠	末尾桁不足
14051	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C711	C71.1 前頭葉の悪性新生物	前頭葉	ICD誤りまたは病名不適
14057	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C711	C71.1 前頭葉の悪性新生物	前頭葉悪性腫瘍術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
14071	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C711	C71.1 前頭葉の悪性新生物	前頭葉脳梗塞	ICD誤りまたは病名不適
14124	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C712	C71.2 側頭葉の悪性新生物	右側頭葉の膠芽腫術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
14148	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C712	C71.2 側頭葉の悪性新生物	側頭葉	ICD誤りまたは病名不適
14150	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C712	C71.2 側頭葉の悪性新生物	側頭葉悪性腫	末尾桁不足
14216	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C713	C71.3 頭頂葉の悪性新生物	頭頂葉悪性腫	末尾桁不足
14243	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C714	C71.4 後頭葉の悪性新生物	後頭葉の膠芽腫術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
14290	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C715	C71.5 脳室の悪性新生物	脳室	ICD誤りまたは病名不適
14304	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C715	C71.5 脳室の悪性新生物	脳腫瘍(卵黄嚢腫瘍)術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
14318	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C716	C71.6 小脳の悪性新生物	小脳	ICD誤りまたは病名不適
14335	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C716	C71.6 小脳の悪性新生物	小脳髄芽腫術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
14342	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C716	C71.6 小脳の悪性新生物	髄芽腫(左小脳半球)術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
14353	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C717	C71.7 脳幹の悪性新生物	“脳腫瘍(第4脳室内, 過形成腫瘍)”	不要な文字の存在[""]
14379	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C717	C71.7 脳幹の悪性新生物	脳幹	病名不適
14418	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C718	C71.8 脳の悪性新生物 脳の境界部病巣	幹の境界部病巣の多形性膠芽腫術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
14441	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C718	C71.8 脳の悪性新生物 脳の境界部病巣	脳の悪性新生物 脳の境界部病巣	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
14475	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C719	C71.9 脳の悪性新生物, 部位不明	悪性脳腫	末尾桁不足
14482	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C719	C71.9 脳の悪性新生物, 部位不明	悪性脳腫瘍術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
14563	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C719	C71.9 脳の悪性新生物, 部位不明	脳の悪性新生物, 部位不明	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
14578	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C719	C71.9 脳の悪性新生物, 部位不明	脳腫瘍(術後)	術後なのか新たな疾病なのか不詳
14590	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C719	C71.9 脳の悪性新生物, 部位不明	脳上衣腫術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
14613	010010	脳腫瘍	C71\$	脳の悪性新生物	C719	C71.9 脳の悪性新生物, 部位不明	膠芽腫、部位不明術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
14680	010010	脳腫瘍	C722	脊髄、脳神経及び中枢神経のその他の部位の悪性新生物、嗅神	C722	C72.2 嗅神経の悪性新生物	嗅神経芽細胞腫(術後)	術後なのか新たな疾病なのか不詳
16497	010010	脳腫瘍	C793	脳および脳髄膜の続発性悪性新生物	C793	C79.3 脳および脳髄膜の続発性悪性新生物	転移性脊髄腫	末尾桁不足
16505	010010	脳腫瘍	C793	脳および脳髄膜の続発性悪性新生物	C793	C79.3 脳および脳髄膜の続発性悪性新生物	転移性脳腫	末尾桁不足
16531	010010	脳腫瘍	C793	脳および脳髄膜の続発性悪性新生物	C793	C79.3 脳および脳髄膜の続発性悪性新生物	転移性脳腫瘍術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳

表3. 病名検証結果の例(MDC1)

SEQ	DPC_No	DPC_name	DPC_ICD	ICD_name(DPC)	資源ICD	資源ICD分類名	資源傷病名	コメント
16542	010010	脳腫瘍	C793	脳および脳髄膜の続発性悪性新生物	C793	C79.3 脳および脳髄膜の続発性悪性新生物	脳および脳髄膜の続発性悪性新生物	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
16546	010010	脳腫瘍	C793	脳および脳髄膜の続発性悪性新生物	C793	C79.3 脳および脳髄膜の続発性悪性新生物	脳の続発性悪性新生物術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
16562	010010	脳腫瘍	C793	脳および脳髄膜の続発性悪性新生物	C793	C79.3 脳および脳髄膜の続発性悪性新生物	肺癌	ICD誤りまたは病名不適
24821	010010	脳腫瘍	D320	髄膜の良性新生物、脳髄膜	D320	D32.0 脳髄膜の良性新生物	トルコ鞍結節部髄膜炎	ICD誤りまたは病名不適
24826	010010	脳腫瘍	D320	髄膜の良性新生物、脳髄膜	D320	D32.0 脳髄膜の良性新生物	悪性髄膜腫(天幕上)	ICD誤りまたは病名不適
24828	010010	脳腫瘍	D320	髄膜の良性新生物、脳髄膜	D320	D32.0 脳髄膜の良性新生物	鞍結節部髄膜炎	ICD誤りまたは病名不適
24850	010010	脳腫瘍	D320	髄膜の良性新生物、脳髄膜	D320	D32.0 脳髄膜の良性新生物	円蓋部髄膜炎	ICD誤りまたは病名不適
24858	010010	脳腫瘍	D320	髄膜の良性新生物、脳髄膜	D320	D32.0 脳髄膜の良性新生物	後頭蓋窩髄膜	末尾桁不足
24871	010010	脳腫瘍	D320	髄膜の良性新生物、脳髄膜	D320	D32.0 脳髄膜の良性新生物	左小脳橋角部髄膜腫術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
24878	010010	脳腫瘍	D320	髄膜の良性新生物、脳髄膜	D320	D32.0 脳髄膜の良性新生物	左大脳鎌髄膜腫術後再発術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
24911	010010	脳腫瘍	D320	髄膜の良性新生物、脳髄膜	D320	D32.0 脳髄膜の良性新生物	髄膜腫(術後)	術後なのか新たな疾病なのか不詳
24939	010010	脳腫瘍	D320	髄膜の良性新生物、脳髄膜	D320	D32.0 脳髄膜の良性新生物	蝶形骨縁髄膜腫(術後)	術後なのか新たな疾病なのか不詳
24962	010010	脳腫瘍	D320	髄膜の良性新生物、脳髄膜	d320	D32.0 脳髄膜の良性新生物	脳髄膜炎	ICD誤りまたは病名不適
25060	010010	脳腫瘍	D329	髄膜の良性新生物、部位不明	D329	D32.9 髄膜の良性新生物、部位不明	髄膜良性腫	末尾桁不足
25154	010010	脳腫瘍	D331	脳および中枢神経系のその他の部位の良性新生物、脳、テント下	D331	D33.1 脳の良性新生物、テント下	脳S	病名不適
25157	010010	脳腫瘍	D331	脳および中枢神経系のその他の部位の良性新生物、脳、テント下	D331	D33.1 脳の良性新生物、テント下	脳の良性新生物、テント	末尾桁不足
25158	010010	脳腫瘍	D331	脳および中枢神経系のその他の部位の良性新生物、脳、テント下	D331	D33.1 脳の良性新生物、テント下	脳の良性新生物、テント下	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
25213	010010	脳腫瘍	D332	脳および中枢神経系のその他の部位の良性新生物、脳、部位不明	D332	D33.2 脳の良性新生物、部位不明	脳腫瘍術後(神経細胞腫)	今回は脳腫瘍?
25216	010010	脳腫瘍	D332	脳および中枢神経系のその他の部位の良性新生物、脳、部位不明	D332	D33.2 脳の良性新生物、部位不明	脳良性腫	末尾桁不足
25280	010010	脳腫瘍	D333	脳および中枢神経系のその他の部位の良性新生物、脳神経	D333	D33.3 脳神経の良性新生物	脳神経	ICD誤りまたは病名不適
25353	010010	脳腫瘍	D337	脳および中枢神経系のその他の部位の良性新生物、中枢神経のその他の明示さ	D337	D33.7 中枢神経系のその他の明示された部位の良性新生物	中枢神経系のその他の明示された部位の良性新生物	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
26373	010010	脳腫瘍	D43\$	脳および中枢神経系の性状不詳または不明の新	D431	D43.1 脳の性状不詳または不明の新生物、テント下	脳梗塞	ICD誤りまたは病名不適
26376	010010	脳腫瘍	D43\$	脳および中枢神経系の性状不詳または不明の新	D432	D43.2 脳の性状不詳または不明の新生物、部位不明	#N/A	意味不明の文字
26377	010010	脳腫瘍	D43\$	脳および中枢神経系の性状不詳または不明の新	D432	D43.2 脳の性状不詳または不明の新生物、部位不明	D432	意味不明の文字

表3. 病名検証結果の例(MDC1)

SEQ	DPC_No	DPC_name	DPC_ICD	ICD_name(DPC)	資源ICD	資源ICD分類名	資源傷病名	コメント
26387	010010	脳腫瘍	D43\$	脳および中枢神経系の性状不詳または不明の新	D432	D43.2 脳の性状不詳または不明の新生物、部位不明	脳腫	末尾一文字欠落?
26418	010010	脳腫瘍	D43\$	脳および中枢神経系の性状不詳または不明の新	D434	D43.4 脊髄の性状不詳または不明の新生物	脊髄の性状不詳または不明の新生物	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
26424	010010	脳腫瘍	D43\$	脳および中枢神経系の性状不詳または不明の新	D434	D43.4 脊髄の性状不詳または不明の新生物	脊髄腫瘍の術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
44155	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I600	I60.0 頸動脈サイフォンおよび頸動脈分岐部からのくも膜下出血	くも膜下出血(内頸一後交通動脈分岐部動脈)術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
44158	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I600	I60.0 頸動脈サイフォンおよび頸動脈分岐部からのくも膜下出血	くも膜下出血術後(It. A2A3)	今回はくも膜下出血?
44164	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I600	I60.0 頸動脈サイフォンおよび頸動脈分岐部からのくも膜下出血	頸動脈サイフォンおよび頸動脈分岐部からのくも膜下出血	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
44165	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I600	I60.0 頸動脈サイフォンおよび頸動脈分岐部からのくも膜下出血	頸動脈サイフォンおよび頸動脈分岐部からのくも膜下出血術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
44187	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I601	I60.1 中大脳動脈からのくも膜下出血	I601	意味不明の文字
44211	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I601	I60.1 中大脳動脈からのくも膜下出血	中大脳動脈からのくも膜下出	末尾桁不足
44213	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I601	I60.1 中大脳動脈からのくも膜下出血	中大脳動脈からのくも膜下出血術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
44237	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I602	I60.2 前交通動脈からのくも膜下出血	クモ膜下出血術後(前交通動脈)	今回はくも膜下出血?
44243	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I602	I60.2 前交通動脈からのくも膜下出血	前交通動脈からのくも膜下出	末尾桁不足
44245	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I602	I60.2 前交通動脈からのくも膜下出血	前交通動脈からのくも膜下出血術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
44246	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I602	I60.2 前交通動脈からのくも膜下出血	前交通動脈からのくも膜下出血術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
44264	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I603	I60.3 後交通動脈からのくも膜下出血	クモ膜下出血術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
44267	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I603	I60.3 後交通動脈からのくも膜下出血	後交通動脈からのくも膜下出	末尾桁不足
44275	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I603	I60.3 後交通動脈からのくも膜下出血	脳動脈瘤破裂術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
44287	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I604	I60.4 脳底動脈からのくも膜下出血	脳底動脈からのくも膜下出血(術後)	術後なのか新たな疾病なのか不詳

表3. 病名検証結果の例(MDC1)

SEQ	DPC_No	DPC_name	DPC_ICD	ICD_name(DPC)	資源ICD	資源ICD分類名	資源傷病名	コメント
44293	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I604	I60.4 脳底動脈からのくも膜下出血	破裂脳動脈瘤 コイル塞栓術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
44306	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I605	I60.5 椎骨動脈からのくも膜下出血	椎骨動脈からのくも膜下出血	末尾桁不足
44309	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I605	I60.5 椎骨動脈からのくも膜下出血	椎骨動脈からのくも膜下出血術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
44323	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I606	I60.6 その他の頭蓋内動脈からのくも膜下出血	その他の頭蓋内動脈からのくも膜下出血	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
44346	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I607	I60.7 頭蓋内動脈からのくも膜下出血、詳細不明	頭蓋内動脈からのくも膜下出血、詳細不明	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
44359	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I608	I60.8 その他のくも膜下出血	その他のくも膜下出血	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
44379	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I609	I60.9 くも膜下出血、詳細不明	くも膜下出血	末尾桁不足
44382	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I609	I60.9 くも膜下出血、詳細不明	くも膜下出血(術後)	術後なのか新たな疾病なのか不詳
44391	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I609	I60.9 くも膜下出血、詳細不明	くも膜下出血、詳細不明	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
44394	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I609	I60.9 くも膜下出血、詳細不明	くも膜下出血、詳細不明術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
44398	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I609	I60.9 くも膜下出血、詳細不明	くも膜下出血後	××後の臨床病名なし
44400	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I609	I60.9 くも膜下出血、詳細不明	くも膜下出血術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
44406	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I609	I60.9 くも膜下出血、詳細不明	左破裂脳動脈瘤(MCA)術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
44417	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I609	I60.9 くも膜下出血、詳細不明	脳動脈瘤破裂術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
44419	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I609	I60.9 くも膜下出血、詳細不明	破裂性脳動脈瘤治療後	××後の臨床病名なし
44421	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I609	I60.9 くも膜下出血、詳細不明	破裂脳動脈瘤(術後状態)	術後なのか新たな疾病なのか不詳
44423	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60\$	くも膜下出血	I609	I60.9 くも膜下出血、詳細不明	破裂脳動脈瘤術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳

表3. 病名検証結果の例(MDC1)

SEQ	DPC.No	DPC.name	DPC.ICD	ICD_name(DPC)	資源ICD	資源ICD分類名	資源傷病名	コメント
46156	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	ウィリス動脈環動脈	末尾桁不足
46178	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	右内頸動脈瘤術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46194	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	硬膜動静脈瘻術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46238	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	前交通動脈瘤クリッピング術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46254	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	胆管癌	ICD誤りまたは病名不適
46264	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	椎骨動脈瘤脳動脈瘤塞栓術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46270	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	内頸後交通動脈瘤、非<未>破裂性術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46292	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	脳動脈	末尾桁不足
46293	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	脳動脈癌疑い	ICD誤りまたは病名不適
46305	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	脳動脈瘤(未破裂)術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46306	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	脳動脈瘤(未破裂)脳動脈瘤クリッピング術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46310	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	脳動脈瘤、非<未>破裂性	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
46318	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	脳動脈瘤、塞栓術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46323	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	脳動脈瘤コイルリング後	××後の臨床病名なし
46324	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	脳動脈瘤コイル塞栓術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46327	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	脳動脈瘤塞栓術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46328	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	脳動脈瘤治療後	××後の臨床病名なし
46329	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	脳動脈瘤術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46340	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	非<未>破裂脳動脈瘤術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46344	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	非破裂性脳動脈	末尾桁不足
46346	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	非破裂性脳動脈瘤内頸動脈一後交通動脈分岐部術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46348	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	非破裂性脳動脈瘤(術後)	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46360	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	非破裂性脳動脈瘤術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳

表3. 病名検証結果の例(MDC1)

SEQ	DPC_No	DPC_name	DPC_ICD	ICD_name(DPC)	資源ICD	資源ICD分類名	資源傷病名	コメント
46376	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	未破裂性動脈瘤術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46415	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	未破裂脳動脈瘤、その他の部位術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46417	010030	未破裂脳動脈瘤	I671	脳動脈瘤、非破裂性	I671	I67.1 脳動脈瘤、非<未>破裂性	未破裂脳動脈瘤術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
44426	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	I61\$	脳内出血	I610	I61.0 (大脳)半球の脳内出血, 皮質下	"大脳半球の脳内出血, 皮質下・深部脳内出血"	不要な文字の存在[""]
44431	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	I61\$	脳内出血	I610	I61.0 (大脳)半球の脳内出血, 皮質下	(大脳)半球の脳内出血, 皮質下	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
44449	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	I61\$	脳内出血	I610	I61.0 (大脳)半球の脳内出血, 皮質下	右前頭葉皮質下出血後	××後の臨床病名なし
44504	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	I61\$	脳内出血	I610	I61.0 (大脳)半球の脳内出血, 皮質下	視床出	病名誤り(ICD不適)
44525	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	I61\$	脳内出血	I610	I61.0 (大脳)半球の脳内出血, 皮質下	脳梗塞	ICD誤りまたは病名不適
44594	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	I61\$	脳内出血	I610	I61.0 (大脳)半球の脳内出血, 皮質下	被殻出血後	××後の臨床病名なし
44596	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	I61\$	脳内出血	I610	I61.0 (大脳)半球の脳内出血, 皮質下	被殻出	末尾桁不足
44602	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	I61\$	脳内出血	I611	I61.1 (大脳)半球の脳内出血, 皮質	(大脳)半球の脳内出血, 皮質	臨床病名を記載>ICD分類そのまま

表3. 病名検証結果の例(MDC1)

SEQ	DPC_N o	DPC_na me	DPC_I CD	ICD_name(DPC)	資源ICD	資源ICD分類名	資源傷病名	コメント
44628	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	I61\$	脳内出血	I611	I61.1 (大脳)半球の脳内出血, 皮質	皮質脳内出	末尾桁不足
44682	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	I61\$	脳内出血	I614	I61.4 小脳の脳内出血	小脳の脳内出	末尾桁不足
44686	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	I61\$	脳内出血	I614	I61.4 小脳の脳内出血	小脳出	末尾桁不足
44708	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	I61\$	脳内出血	I615	I61.5 脳内出血, 脳室内	脳室内出	末尾桁不足
44724	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	I61\$	脳内出血	I615	I61.5 脳内出血, 脳室内	脳内出血, 脳室内	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
44735	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	I61\$	脳内出血	I616	I61.6 脳内出血, 多発限局性	脳内出血, 多発限局性	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
44738	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	I61\$	脳内出血	I618	I61.8 その他の脳内出血	その他の脳内出血	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
44780	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	I61\$	脳内出血	I619	I61.9 脳内出血, 詳細不明	高血圧性脳内血	末尾桁不足
44792	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	I61\$	脳内出血	I619	I61.9 脳内出血, 詳細不明	術後骨欠損(脳出血術後)	ICD不適?
44804	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	I61\$	脳内出血	I619	I61.9 脳内出血, 詳細不明	脳出	末尾一文字欠落?

表3. 病名検証結果の例(MDC1)

SEQ	DPC_No	DPC_name	DPC_ICD	ICD_name(DPC)	資源ICD	資源ICD分類名	資源傷病名	コメント
44813	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	I61\$	脳内出血	I619	I61.9 脳内出血, 詳細不明	脳出血後	××後の臨床病名なし
44819	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	I61\$	脳内出血	I619	I61.9 脳内出血, 詳細不明	脳内出血, 詳細不明	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
44916	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	I629	その他の非外傷性頭蓋内出血	I629	I62.9 頭蓋内出血(非外傷性), 詳細不明	頭蓋内出血(非外傷性), 詳細不明	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
44923	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	I629	その他の非外傷性頭蓋内出血	I629	I62.9 頭蓋内出血(非外傷性), 詳細不明	慢性硬膜下血腫術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
80411	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	Q282	脳実質血管の動静脈奇形	Q282	Q28.2 脳血管の動静脈奇形	右脳血管の動静脈奇形後	「後」の臨床病名不明
80431	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	Q282	脳実質血管の動静脈奇形	Q282	Q28.2 脳血管の動静脈奇形	左小脳半球脳動静脈奇形放射線治療後	××後の臨床病名なし
80447	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	Q282	脳実質血管の動静脈奇形	Q282	Q28.2 脳血管の動静脈奇形	脳血管の動静脈奇形術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
80450	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	Q282	脳実質血管の動静脈奇形	Q282	Q28.2 脳血管の動静脈奇形	脳動静脈奇	末尾桁不足
80461	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	Q282	脳実質血管の動静脈奇形	Q282	Q28.2 脳血管の動静脈奇形	脳動静脈奇形術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
80474	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	Q283	脳実質血管のその他の奇形	Q283	Q28.3 脳血管のその他の奇形	脳血管先天奇	末尾桁不足

表3. 病名検証結果の例(MDC1)

SEQ	DPC_No	DPC_name	DPC_ICD	ICD_name(DPC)	資源ICD	資源ICD分類名	資源傷病名	コメント
44849	010050	非外傷性硬膜下血腫	I620	硬膜下出血	I620	I62.0 硬膜下出血(急性)(非外傷性)	硬膜下出血(急性)(非外傷性)	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
44870	010050	非外傷性硬膜下血腫	I620	硬膜下出血	I620	I62.0 硬膜下出血(急性)(非外傷性)	慢性硬膜下血	末尾桁不足
44886	010050	非外傷性硬膜下血腫	I620	硬膜下出血	I620	I62.0 硬膜下出血(急性)(非外傷性)	慢性硬膜下腫瘍(左)	ICD誤りまたは病名不適
33308	010060	脳梗塞	G45\$	一過性脳虚血発作および関連症候群	G451	G45.1 頸動脈症候群(半球性)	頸動脈症候群(半球性)	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
33329	010060	脳梗塞	G45\$	一過性脳虚血発作および関連症候群	G458	G45.8 その他の一過性脳虚血発作および関連症候群	その他の一過性脳虚血発作および関連症候群	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
33333	010060	脳梗塞	G45\$	一過性脳虚血発作および関連症候群	G458	G45.8 その他の一過性脳虚血発作および関連症候群	一過性脳虚血発作および関連症候群	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
33354	010060	脳梗塞	G45\$	一過性脳虚血発作および関連症候群	G459	G45.9 一過性脳虚血発作, 詳細不明	一過性脳虚血発	末尾桁不足
33365	010060	脳梗塞	G45\$	一過性脳虚血発作および関連症候群	G459	G45.9 一過性脳虚血発作, 詳細不明	一過性脳虚血発作, 詳細不明	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
44926	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I63	I63 脳梗塞	脳梗	末尾一文字欠落?
44967	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I630	I63.0 脳実質外動脈の血栓症による脳梗塞	脳実質外動脈の血栓症による脳梗塞	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
44994	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I631	I63.1 脳実質外動脈の塞栓症による脳梗塞	脳外主幹動脈塞栓症 脳梗	末尾桁不足
45011	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I631	I63.1 脳実質外動脈の塞栓症による脳梗塞	脳実質外動脈の塞栓症による脳梗塞	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
45039	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I632	I63.2 脳実質外動脈の詳細不明の閉塞または狭窄による脳梗塞	脳外主幹動脈閉塞 脳梗	末尾桁不足
45061	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I632	I63.2 脳実質外動脈の詳細不明の閉塞または狭窄による脳梗塞	脳実質外動脈の詳細不明の閉塞または狭窄による脳梗塞	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
45071	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I633	I63.3 脳動脈の血栓症による脳梗塞	その他の脳梗塞	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
45127	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I633	I63.3 脳動脈の血栓症による脳梗塞	脳血栓	ICD誤り
45213	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I633	I63.3 脳動脈の血栓症による脳梗塞	脳動脈の血栓症による脳梗塞	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
45216	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I633	I63.3 脳動脈の血栓症による脳梗塞	脳動脈の塞栓症による脳梗塞	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
45309	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I634	I63.4 脳動脈の塞栓症による脳梗塞	脳塞栓	ICD誤り
45330	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I634	I63.4 脳動脈の塞栓症による脳梗塞	脳動脈の血栓症による脳梗塞	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
45332	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I634	I63.4 脳動脈の塞栓症による脳梗塞	脳動脈の塞栓症による脳梗	末尾桁不足
45333	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I634	I63.4 脳動脈の塞栓症による脳梗塞	脳動脈の塞栓症による脳梗塞	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
45380	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I635	I63.5 脳動脈の詳細不明の閉塞または狭窄による脳梗塞	小窩性梗	末尾桁不足
45440	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I635	I63.5 脳動脈の詳細不明の閉塞または狭窄による脳梗塞	脳動脈の血栓症による脳梗塞	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
45442	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I635	I63.5 脳動脈の詳細不明の閉塞または狭窄による脳梗塞	脳動脈の詳細不明の閉塞または狭窄による脳梗塞	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
45451	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I636	I63.6 脳静脈血栓症による脳梗塞, 非化膿性	静脈血栓性脳梗	末尾桁不足
45459	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I638	I63.8 その他の脳梗塞	"ラクナ脳梗塞,小窩性梗塞"	不要な文字の存在[""]
45460	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I638	I63.8 その他の脳梗塞	"ラクナ脳梗塞,小窩性梗塞(放線冠)"	不要な文字の存在[""]
45461	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I638	I63.8 その他の脳梗塞	I638	意味不明の文字

表3. 病名検証結果の例(MDC1)

SEQ	DPC_No	DPC_name	DPC_CD	ICD_name(DPC)	資源ICD	資源ICD分類名	資源傷病名	コメント
45463	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I638	I63.8 その他の脳梗塞	その他の脳梗	末尾桁不足
45464	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I638	I63.8 その他の脳梗塞	その他の脳梗塞	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
45514	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I638	I63.8 その他の脳梗塞	小脳梗	末尾桁不足
45530	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I638	I63.8 その他の脳梗塞	多発性脳梗	末尾桁不足
45600	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I639	I63.9 脳梗塞, 詳細不明	"脳梗塞(脳血栓症, 左MCA領域)"	不要な文字の存在[""]
45601	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I639	I63.9 脳梗塞, 詳細不明	"脳梗塞, 詳細不明"	不要な文字の存在[""]
45631	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I639	I63.9 脳梗塞, 詳細不明	再発性脳梗	末尾桁不足
45643	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I639	I63.9 脳梗塞, 詳細不明	上顎癌	ICD誤りまたは病名不適
45662	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I639	I63.9 脳梗塞, 詳細不明	脳梗	末尾一文字欠落?
45701	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I639	I63.9 脳梗塞, 詳細不明	脳梗塞, 詳細不明	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
45727	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I639	I63.9 脳梗塞, 詳細不明	脳動脈の血栓症による脳梗塞	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
45730	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I639	I63.9 脳梗塞, 詳細不明	慢性腎不全	病名誤り(ICD不適)
45737	010060	脳梗塞	I63\$	脳梗塞	I6390		脳梗塞, 詳細不明	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
45757	010060	脳梗塞	I65\$	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	I650	I65.0 椎骨動脈の閉塞および狭窄	椎骨動脈の閉塞および狭窄	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
45762	010060	脳梗塞	I65\$	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	I650	I65.0 椎骨動脈の閉塞および狭窄	椎骨動脈狭窄症(ステント治療後)	××後の臨床病名なし
45771	010060	脳梗塞	I65\$	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	I650	I65.0 椎骨動脈の閉塞および狭窄	椎骨動脈閉塞症(術後)	術後なのか新たな疾病なのか不詳
45783	010060	脳梗塞	I65\$	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	I651	I65.1 脳底動脈の閉塞および狭窄	脳底動脈の閉塞および狭窄	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
45829	010060	脳梗塞	I65\$	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	I652	I65.2 頸動脈の閉塞および狭窄	頸動脈の閉塞および狭窄	末尾桁不足
45830	010060	脳梗塞	I65\$	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	I652	I65.2 頸動脈の閉塞および狭窄	頸動脈の閉塞および狭窄	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
45861	010060	脳梗塞	I65\$	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	I652	I65.2 頸動脈の閉塞および狭窄	左内頸動脈狭窄(術後)	術後なのか新たな疾病なのか不詳
45864	010060	脳梗塞	I65\$	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	I652	I65.2 頸動脈の閉塞および狭窄	左内頸動脈狭窄症頸動脈内膜剥離術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
45871	010060	脳梗塞	I65\$	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	I652	I65.2 頸動脈の閉塞および狭窄	左内頸動脈閉塞症の術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
45875	010060	脳梗塞	I65\$	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	I652	I65.2 頸動脈の閉塞および狭窄	左内頸動脈狭窄症術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
45897	010060	脳梗塞	I65\$	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	I652	I65.2 頸動脈の閉塞および狭窄	内頸動脈狭窄症の術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
45914	010060	脳梗塞	I65\$	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	I652	I65.2 頸動脈の閉塞および狭窄	内頸動脈狭窄症(術後)	術後なのか新たな疾病なのか不詳

表3. 病名検証結果の例(MDC1)

SEQ	DPC_No	DPC_name	DPC_CD	ICD_name(DPC)	資源ICD	資源ICD分類名	資源傷病名	コメント
45922	010060	脳梗塞	I65\$	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	I652	I65.2 頸動脈の閉塞および狭窄	内頸動脈閉塞症(術後)	術後なのか新たな疾病なのか不詳
45954	010060	脳梗塞	I65\$	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	I653	I65.3 多発性および両側性の脳実質外動脈の閉塞および狭窄	多発性および両側性の脳実質外動脈の閉塞および狭窄	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
45959	010060	脳梗塞	I65\$	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	I653	I65.3 多発性および両側性の脳実質外動脈の閉塞および狭窄	内頸、総頸動脈狭窄症術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
45998	010060	脳梗塞	I66\$	脳動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞の至らなかった	I660	I66.0 中大脳動脈の閉塞および狭窄	中大脳動脈の閉塞および狭窄	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
46004	010060	脳梗塞	I66\$	脳動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞の至らなかった	I660	I66.0 中大脳動脈の閉塞および狭窄	中大脳動脈狭窄症(術後)	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46016	010060	脳梗塞	I66\$	脳動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞の至らなかった	I660	I66.0 中大脳動脈の閉塞および狭窄	中大脳動脈閉塞症(術後)	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46029	010060	脳梗塞	I66\$	脳動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞の至らなかった	I6600		中大脳動脈の閉塞および狭窄	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
46056	010060	脳梗塞	I66\$	脳動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞の至らなかった	I663	I66.3 小脳動脈の閉塞および狭窄	脳動脈瘤塞栓術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46087	010060	脳梗塞	I66\$	脳動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞の至らなかった	I669	I66.9 詳細不明の脳動脈の閉塞および狭窄	詳細不明の脳動脈の閉塞および狭窄	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
46093	010060	脳梗塞	I66\$	脳動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞の至らなかった	I669	I66.9 詳細不明の脳動脈の閉塞および狭窄	脳血管閉塞・狭窄	末尾桁不足
46114	010060	脳梗塞	I66\$	脳動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞の至らなかった	I669	I66.9 詳細不明の脳動脈の閉塞および狭窄	脳塞栓症後	××後の臨床病名なし
46453	010060	脳梗塞	I675	もやもや病	I675	I67.5 もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>	もやもや病(術後)	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46454	010060	脳梗塞	I675	もやもや病	I675	I67.5 もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>	もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
46460	010060	脳梗塞	I675	もやもや病	I675	I67.5 もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>	モヤモヤ病術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46462	010060	脳梗塞	I675	もやもや病	I675	I67.5 もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>	小児もやもや病術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46545	010060	脳梗塞	I679	脳血管疾患、詳細不明	I679	I67.9 脳血管疾患、詳細不明	脳血管疾患	病名不適・末尾桁不足
46547	010060	脳梗塞	I679	脳血管疾患、詳細不明	I679	I67.9 脳血管疾患、詳細不明	脳血管疾患、詳細不明	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
46578	010060	脳梗塞	I693	脳梗塞の続発、後遺症	I693	I69.3 脳梗塞の続発・後遺症	I693	意味不明の文字
46599	010060	脳梗塞	I693	脳梗塞の続発、後遺症	I693	I69.3 脳梗塞の続発・後遺症	脳梗塞後遺	今回の傷病不詳・末尾桁不足
46555	010070	脳血管障害(その他)	I688	他に分類される疾患におけるその他の脳血管障害	I688	I68.8 * 他に分類される疾患におけるその他の脳血管障害	他に分類される疾患におけるその他の脳血管障害	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
46559	010070	脳血管障害(その他)	I690	くも膜下出血の続発・後遺症	I690	I69.0 くも膜下出血の続発・後遺症	くも膜下出血の術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46561	010070	脳血管障害(その他)	I690	くも膜下出血の続発・後遺症	I690	I69.0 くも膜下出血の続発・後遺症	くも膜下出血術後状態	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46566	010070	脳血管障害(その他)	I691	脳内出血の続発・後遺症	I691	I69.1 脳内出血の続発・後遺症	脳出血(左片麻痺)の術後状態	術後なのか新たな疾病なのか不詳
46571	010070	脳血管障害(その他)	I691	脳内出血の続発・後遺症	I691	I69.1 脳内出血の続発・後遺症	脳出血後状態	現在の傷病が不明確
31806	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G00\$	細菌性髄膜炎、他に分類されないもの	G003	G00.3 ブドウ球菌性髄膜炎	ブドウ球菌性髄膜	末尾桁不足

表3. 病名検証結果の例(MDC1)

SEQ	DPC_No	DPC_name	DPC_ICD	ICD_name(DPC)	資源ICD	資源ICD分類名	資源傷病名	コメント
31809	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G00\$	細菌性髄膜炎、他に分類されないもの	G008	G00.8 その他の細菌性髄膜炎	その他の細菌性髄膜炎	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
31821	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G00\$	細菌性髄膜炎、他に分類されないもの	G009	G00.9 細菌性髄膜炎、詳細不明	細菌性髄膜炎	末尾桁不足
31824	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G00\$	細菌性髄膜炎、他に分類されないもの	G009	G00.9 細菌性髄膜炎、詳細不明	細菌性髄膜炎、詳細不明	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
31828	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G00\$	細菌性髄膜炎、他に分類されないもの	G009	G00.9 細菌性髄膜炎、詳細不明	細菌性髄膜炎後	××後の臨床病名なし
31849	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G02\$	他に分類されるその他の感染症および寄生虫症における髄膜炎	G020	G02.0* 他に分類されるウイルス疾患における髄膜炎	他に分類されるウイルス疾患における髄膜炎	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
31853	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G02\$	他に分類されるその他の感染症および寄生虫症における髄膜炎	G021	G02.1* 真菌症における髄膜炎	真菌症における髄膜炎	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
31871	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G03\$	その他および詳細不明の原因による髄膜炎	G030	G03.0 非化膿性髄膜炎	無菌性髄膜炎	末尾桁不足
31884	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G03\$	その他および詳細不明の原因による髄膜炎	G032	G03.2 良性再発性髄膜炎[モラレ<Mollaret>髄膜炎]	良性再発性髄膜炎[モラレ<Mollaret>髄膜炎]	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
31887	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G03\$	その他および詳細不明の原因による髄膜炎	G038	G03.8 その他の明示された原因による髄膜炎	その他の明示された原因による髄膜炎	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
31904	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G03\$	その他および詳細不明の原因による髄膜炎	G039	G03.9 髄膜炎、詳細不明	髄膜炎	ICD誤り、末尾桁不足または病名不適
31907	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G03\$	その他および詳細不明の原因による髄膜炎	G039	G03.9 髄膜炎、詳細不明	髄膜炎、詳細不明	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
31935	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G042	細菌性髄膜炎及び髄膜脊髄炎、他に分類されないもの	G042	G04.2 細菌性髄膜炎及び髄膜脊髄炎、他に分類されないもの	化膿性脊髄	末尾桁不足
31945	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G042	細菌性髄膜炎及び髄膜脊髄炎、他に分類されないもの	G042	G04.2 細菌性髄膜炎及び髄膜脊髄炎、他に分類されないもの	脳炎	△
31950	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G048	その他の脳炎、脊髄炎及び脳脊髄炎	G048	G04.8 その他の脳炎、脊髄炎及び脳脊髄炎	その他の脳炎、脊髄炎および脳脊髄炎	臨床病名を・末尾桁不足
31967	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G048	その他の脳炎、脊髄炎及び脳脊髄炎	G048	G04.8 その他の脳炎、脊髄炎および脳脊髄炎	脳炎	△
31995	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G049	脳炎、脊髄炎及び脳脊髄炎、詳細不明	G049	G04.9 脳炎、脊髄炎および脳脊髄炎、詳細不明	脳炎	△
31997	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G049	脳炎、脊髄炎及び脳脊髄炎、詳細不明	G049	G04.9 脳炎、脊髄炎および脳脊髄炎、詳細不明	脳炎、脊髄炎および脳脊髄炎、詳細不明術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
32029	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G05\$	他に分類される疾患における脳炎、脊髄炎および脳脊髄炎	G051	G05.1* 他に分類されるウイルス疾患における脳炎、脊髄炎および脳脊髄炎	脳炎	△
32048	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G06\$	頭蓋内および脊椎管内の膿瘍および肉芽腫	G060	G06.0 頭蓋内膿瘍および肉芽腫	後頭蓋窩膿	末尾桁不足
32065	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G06\$	頭蓋内および脊椎管内の膿瘍および肉芽腫	G060	G06.0 頭蓋内膿瘍および肉芽腫	頭蓋内膿瘍および肉芽腫	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
32068	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G06\$	頭蓋内および脊椎管内の膿瘍および肉芽腫	G060	G06.0 頭蓋内膿瘍および肉芽腫	脳腫瘍術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳

表3. 病名検証結果の例(MDC1)

SEQ	DPC_No	DPC_name	DPC_ICD	ICD_name(DPC)	資源ICD	資源ICD分類名	資源傷病名	コメント
32070	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G06\$	頭蓋内および脊椎管内の膿瘍および肉芽腫	G060	G06.0 頭蓋内膿瘍および肉芽腫	脳膿	末尾一文字欠落?
32082	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G06\$	頭蓋内および脊椎管内の膿瘍および肉芽腫	G062	G06.2 硬膜外および硬膜下膿瘍, 詳細不明	硬膜外および硬膜下膿瘍, 詳細不明	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
32086	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G06\$	頭蓋内および脊椎管内の膿瘍および肉芽腫	G062	G06.2 硬膜外および硬膜下膿瘍, 詳細不明	硬膜外膿瘍	末尾桁不足
32092	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G06\$	頭蓋内および脊椎管内の膿瘍および肉芽腫	G062	G06.2 硬膜外および硬膜下膿瘍, 詳細不明	頭蓋内および脊椎管内の膿瘍および肉芽腫	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
34897	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G958	その他の明示された脊髄疾患	G958	G95.8 その他の明示された脊髄疾患	その他の明示された脊髄疾患	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
34921	010080	脳脊髄の感染を伴う炎	G958	その他の明示された脊髄疾患	G958	G95.8 その他の明示された脊髄疾患	膀胱直腸術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
572	010083	結核性髄膜炎、髄膜脳炎	A17\$	神経系結核	A170	A17.0† 結核性髄膜炎(G01*)	結核性髄膜炎後	××後の臨床病名なし
32672	010090	多発性硬化症	G35	多発性硬化症	G35	G35 多発性硬化症	多発性硬化	末尾桁不足
32703	010100	脱髄性疾患(その他)	G37\$	中枢神経系のその他の脱髄疾患	G373	G37.3 中枢神経系の脱髄疾患における急性横断性脊髄炎	中枢神経系の脱髄疾患における急性横断性脊髄炎	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
32704	010100	脱髄性疾患(その他)	G37\$	中枢神経系のその他の脱髄疾患	G375	G37.5 同心性硬化症[パロー<Balo>]	同心性硬化症[パロー<Balo>]	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
32712	010100	脱髄性疾患(その他)	G37\$	中枢神経系のその他の脱髄疾患	G379	G37.9 中枢神経系の脱髄疾患, 詳細不明	中枢神経系の脱髄疾患, 詳細不明	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
34049	010110	免疫介在性・炎症性ニューロパチー	G61\$	炎症性多発(性)ニューロパチー	G610	G61.0 ギラン・バレー<Guillain-Barre>症候群	ギラン・バレー<Guillain-Barre>症候群	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
34070	010110	免疫介在性・炎症性ニューロパチー	G61\$	炎症性多発(性)ニューロパチー	G618	G61.8 その他の炎症性多発(性)ニューロパチー<シ>-	その他の炎症性多発(性)ニューロパチー<シ>-	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
34124	010110	免疫介在性・炎症性ニューロパチー	G61\$	炎症性多発(性)ニューロパチー	G619	G61.9 炎症性多発(性)ニューロパチー<シ>-, 詳細不明	炎症性多発(性)ニューロパチー<シ>-, 詳細不明	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
33760	010111	遺伝性ニューロパチー	G53\$	他に分類される疾患における脳神経障害	G531	G53.1* 他に分類される感染症および寄生虫症における多発性脳神経麻痺 (A00-	他に分類される疾患における脳神経障害	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
33981	010111	遺伝性ニューロパチー	G58\$	その他の単ニューロパチー	G580	G58.0 肋間ニューロパチー<シ>-	肋間ニューロパチー<シ>-	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
33996	010111	遺伝性ニューロパチー	G58\$	その他の単ニューロパチー	G588	G58.8 その他の明示された単ニューロパチー<シ>-	その他の明示された単ニューロパチー<シ>-	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
34026	010111	遺伝性ニューロパチー	G60\$	遺伝性および特発性ニューロパチー	G600	G60.0 遺伝性運動(性)および感覚性ニューロパチー<シ>-	遺伝性運動(性)および感覚性ニューロパチー<シ>-	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
34155	010111	遺伝性ニューロパチー	G62\$	その他の多発性ニューロパチー	G628	G62.8 その他の明示された多発(性)ニューロパチー<シ>-	その他の明示された多発(性)ニューロパチー<シ>-	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
34185	010111	遺伝性ニューロパチー	G62\$	その他の多発性ニューロパチー	G629	G62.9 多発(性)ニューロパチー<シ>-, 詳細不明	多発性神経	末尾桁不足
34197	010111	遺伝性ニューロパチー	G62\$	その他の多発性ニューロパチー	G629	G62.9 多発(性)ニューロパチー<シ>-, 詳細不明	末梢神経障	末尾桁不足

表3. 病名検証結果の例(MDC1)

SEQ	DPC_No	DPC_name	DPC_ICD	ICD_name(DPC)	資源ICD	資源ICD分類名	資源傷病名	コメント
34240	010111	遺伝性ニューロパチー	G64	末梢神経系その他の障害	G64	G64 末梢神経系その他の障害	末梢神経系その他の障害	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
33504	010120	特発性(単)ニューロパチー	G50\$	三叉神経障害	G50	G50 三叉神経障害	三叉神経障	末尾桁不足
34249	010130	重症筋無力症、神経障害(その)	G70\$	重症筋無力症およびその他の神経筋障害	G700	G70.0 重症筋無力症	重症筋無力	末尾桁不足
34252	010130	重症筋無力症、神経障害(その)	G70\$	重症筋無力症およびその他の神経筋障害	G700	G70.0 重症筋無力症	重症筋無力症およびその他の神経筋障害	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
34372	010140	筋疾患(その他)	G72\$	その他のミオパチー	G723	G72.3 周期性四肢麻痺	低カリウム血性周期性四肢麻	末尾桁不足
45742	010150	脳血管疾患(その他)	I64	脳血管発作、脳出血または脳梗塞と明示されないもの	I64	I64 脳血管発作、脳出血または脳梗塞と明示されないもの	脳血管発作、脳出血または脳梗塞と明示されないもの	臨床病名を・末尾桁不足
45743	010150	脳血管疾患(その他)	I64	脳血管発作、脳出血または脳梗塞と明示されないもの	I64	I64 脳血管発作、脳出血または脳梗塞と明示されないもの	脳血管発作、脳出血または脳梗塞と明示されないもの	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
46480	010150	脳血管疾患(その他)	I678	その他の明示された脳血管疾患	I678	I67.8 その他の明示された脳血管疾患	その他の明示された脳血管疾患	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
32204	010155	脊髄性筋萎縮症および関連症候群	G12\$	脊髄性筋萎縮症および関連症候群	G122	G12.2 運動ニューロン疾患	びまん性萎縮性麻	末尾桁不足
32225	010155	脊髄性筋萎縮症および関連症候群	G12\$	脊髄性筋萎縮症および関連症候群	G122	G12.2 運動ニューロン疾患	筋萎縮性	ICD誤りまたは病名不適
32231	010155	脊髄性筋萎縮症および関連症候群	G12\$	脊髄性筋萎縮症および関連症候群	G122	G12.2 運動ニューロン疾患	筋萎縮性側索硬化	末尾桁不足
32254	010155	脊髄性筋萎縮症および関連症候群	G12\$	脊髄性筋萎縮症および関連症候群	G122	G12.2 運動ニューロン疾患	脊髄進行性筋萎縮	末尾桁不足
32266	010155	脊髄性筋萎縮症および関連症候群	G12\$	脊髄性筋萎縮症および関連症候群	G128	G12.8 その他の脊髄性筋萎縮症および関連症候群	その他の脊髄性筋萎縮症および関連症候群	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
32268	010155	脊髄性筋萎縮症および関連症候群	G12\$	脊髄性筋萎縮症および関連症候群	G128	G12.8 その他の脊髄性筋萎縮症および関連症候群	頸椎症性筋萎縮	末尾桁不足
32288	010160	パーキンソン病	G20	パーキンソン病	G20	G20 パーキンソン<Parkinson>病	パーキンソン	末尾桁不足
32289	010160	パーキンソン病	G20	パーキンソン病	G20	G20 パーキンソン<Parkinson>病	パーキンソン<Parkinson>病	臨床病名を記載>ICD分類そのまま
32297	010160	パーキンソン病	G20	パーキンソン病	G20	G20 パーキンソン<Parkinson>病	パーキンソン症候	末尾桁不足
32319	010160	パーキンソン病	G20	パーキンソン病	G20	G20 パーキンソン<Parkinson>病	パーキンソン病術後	術後なのか新たな疾病なのか不詳
32336	010160	パーキンソン病	G20	パーキンソン病	G20	G20 パーキンソン<Parkinson>病	肺炎	ICD不適または病名誤り